

サルファイト試験紙(MN90763)

取扱説明書

国内総発売元

株式会社 アイシス

大阪市東淀川区西淡路1-1-36

TEL:06-6325-1406 FAX:06-6328-8995

ご使用前に必ず熟読いただき正しく使用してください。不注意/誤った使用方法・保管方法による不具合、カタログおよび下記《取扱上の注意》を含めた各種注意事項を順守されていない場合は責任および保証の一切を負いません。

《取扱上の注意》

1. 試験紙に触れる際は必ず研究用手袋を装着してください。指示薬により皮膚に炎症を起こす恐れがあります。
2. 測定後の試験紙の変色は、時間経過により変化する場合があります。

《使用法：亜硫酸イオン(SO₃²⁻)》

1. 必要数の試験紙をプラスチックケースから取り出し、直ちに容器の蓋を閉めます。
2. pH6～9 に調整したサンプル溶液を試験紙に1滴滴下します。
3. 亜硫酸イオン(SO₃²⁻)の濃度に応じて白色試験紙に桃色から赤茶色のスポット、もしくは赤色のリングが現れます。
※検出限界：10mg/L の Na₂SO₃

《使用法：遊離二酸化硫黄(SO₂)》

1. 必要数の試験紙をプラスチックケースから取り出し、直ちに容器の蓋を閉めます。
2. 亜硫酸イオンを含むサンプル溶液に濃度 10%の硫酸を加えて二酸化硫黄(SO₂)を遊離させます。
3. 試験紙を蒸留水で湿らせ、ピンセットでサンプル溶液の液面近くに固定し、遊離させた二酸化硫黄と接触させます。但し試験紙が溶液に浸らないよう注意します。
4. 二酸化硫黄(SO₂)の存在で白色試験紙は桃色から赤茶色に変色します。

《妨害》

- 酸性溶液の場合は試験紙が亜硫酸イオンと反応しません。測定前に酢酸ナトリウムを加えて溶液を pH6～9 に調整してから測定を行います。
- 遊離二酸化硫黄を測定する際、溶液にチオ硫酸イオン(S₂O₃²⁻)が存在すると無機酸によって二酸化硫黄に分解されるため正確な判定ができません。
- 亜硫酸イオンを測定する際、中性溶液中に硫化物(S²⁻)が存在すると試験紙は赤色に変色します。遊離二酸化硫黄を測定する際、酸性溶液中では硫化物が硫化水素(H₂S)として存在し、遊離する二酸化硫黄と反応し硫黄と水に分解され正確な測定ができません。硫化物による妨害は溶液に HgCl₂ を加えて除去します。

《後始末》

使用後の試験紙や廃液は絶対に下水へ流さず、各自治体の条例に従い廃棄してください。

《保管》

日光および高温多湿に晒さず乾燥した+30℃以下の冷暗場所に保管し、開封後は使用期限に関わらず速やかに使用してください。